

NOW 市政の動き・自分史

city government now
一宮市政報告新聞
一宮市議会議員 岡本将嗣

一宮市議会
3月定例会
3月1日開会、3月23日閉会



一宮市議会議員
岡本将嗣

3月定例会 開会

まず、令和3年度 当初予算は、いよいよ中核市へと移行し、また市制施行100周年を迎える、一宮市にとって大きな意義を持つ年となります。中核市になって良かったと市民の皆様にご実感していただけるように、そして100周年を市民の皆様と慶び、地元愛を深めていただけるよう全力で取り組んでまいります。

一般会計の予算規模は、前年度比で43億2,000万円、率にして3.7%の増となり、1,202億9,000万円となりました。また、特別会計・企業会計では、国民健康保険事業特別会計においては、被保険者数の減少の影響などで2億3,000万円余の減額、介護保険事業特別会計で介護サービス給付の伸びなどにより12億3,000万円余の増額、そし

て中核市移行により新たに「母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計」を設置しました。水道事業会計では佐千原浄水場中央監視設備の更新などにより5億2,000万円余の増額となりました。



令和3年3月定例会
岡本将嗣 議員（令和会）
マスク着用・老眼鏡かけての質問席登壇

その結果、一般会計と特別会計・企業会計を合わせた全会計の予算額は2,445億2,000万円余、前年度比で57億円余、率で2.4%の増額となりました。

まず歳入で、市税は新型コロナウイルス感染症の影響により個人市民税、法人市民税で大きく落ち込み、また固定資産税で同様の影響を受けている中小事業者の方に対する減免措置もあることから、市税全体

で前年度との比較で48億3,000万円、9.6%と大幅な減額。

その他の歳入では、感染症対策などにより国庫支出金で17億1,000万円余の増額、競輪場跡地の売却収入などの財産収入で22億3,000万円余の増額。

歳出においては、新型コロナウイルスのワクチン接種に係る費用や中核市移行により県から移譲される保健所業務、環境分野の業務により衛生費で19億円余の増額、中核市移行による新事業の軽費老人ホーム利用料補助金などにより民生費で5億8,000万円余の増額、競輪場跡地の売却収入を今後の公共施設の整備の財源として基金に積み立て、22億円余の増額となりました。

令和2年度 3月補正予算・規模

令和2年度3月補正予算としては、国の補正予算に伴う、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金やその他の交付金に係る各種事業の計上が主な内容。クラスターが発生した事業者の施設改修費用への補助や新生児特別給付金として新生児への5万円の支給を令和3年度も継続するほ

か、障害をお持ちの方一人あたり5,000円を支給する特別障害者手当等受給者臨時給付金、要介護1以上の高齢の方のワクチン接種会場への往復タクシー初乗り運賃の補助などを計上しました。事業者への支援では、雇用調整助成金を申請される方に対する支援金の支給を継続し、感染症拡大による事業環境の変化に対応するための設備費等に対する補助や県の協力金の対象とならない飲食事業者のうち感染症拡大防止対策に協力いただけ的事业者に市独自で1店舗当たり8万円の支援金を支払う経費を創設した。

その他、土木費でも国の補正予算に伴う事業費増額により8億4,000万円余の増額、教育費ではGIGAスクール構想において、同じく国の交付金を活用すべく、導入手法をリースから購入に変更したことによる増額補正となった。

一宮市の予算 イチ推し 20

一目でわかる、イチ推し

令和3年度予算



経験を
力に変えて
有言実行



岡本 将嗣

MASASHI OKAMOTO



このニュースは、日常の議員活動や議会・市政の報告を目的として、話題となっている情報等をピックアップし、不定期に発行するものです。

発行所：岡本まさし事務所
住所：一宮市松降1-8-5
連絡先：0586-85-8034

HP <http://masashi-okamoto.com>

の。単行議案の主なも

新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナウイルスワクチン住民接種事業に係る予算措置を専決処分した。

条例の一部改正案件では、中核市移行及び再任用職員の採用により職員定数を増員する「一宮市職員定数条例」、本町2丁目及び一宮稲沢北IC西部地区整備計画区域における建築物の制限に必要事項を新たに定める「一宮市地区計画等の区域内における建築物の制限に関する条例」ほか可決承認した。

今回の、般質問

■町内会加入と、ごみ集積所問題について

Q・ごみ集積所を新たに設置したい場合、町内会は何を注意すれば良いか。

A・事前に清掃対策課まで相談いただくようお願いしており、収集車が他の車両の通行を妨げることなく安全に通行できること、可燃ごみ集積場所であれば原則10世帯に1か所を条件としている。

Q・町内会に未加入の方は、集積場所にごみを出してはいけないのか。

A・集積場所の使用禁止はできないと考えてますが、使用されている方々でルールを守り、協力して使用していただきたいとの答弁。



ごみステーション設置状況

■キャッシュレス決済の推進について

Q・コロナ禍における消費喚起事業として、プレミアム商品券ではなくキャッシュレス決済ポイントを選択した理由は何か。

A・事務費に係る割合が小さいこと、支払い時の非接触化や時間短縮ができることなどの理由。

Q・国がキャッシュレス決済を推奨しているものの、地方ではなかなか進まない状況に対する市の方策は。

A・人口減少社会において効率性向上を図るため、デジタル市役所の実現を目指し、印鑑廃止と同様にキャッシュレス化を推進推奨していくとの答弁。

常任委員会報告

●総務委員会

自治振興費の自転車ヘルメット着用モデル事業者補助金に関し、本事業の補助対象者と、補助の上限について質疑がありました。それに対し、県の自転車の安全利用推進に関する条例で、自転車用ヘルメットの着用の努力義務化が盛り込まれたと聞いている。県の条例に合わせて自転車用ヘルメットの着用を推進する民間事業者に対して、安全認証を受けた自転車用ヘルメットの購入費用の半額を、1個当たり2,000円、1事業者当たり10個を上限に補助するとの答弁がありました。

●経済教育委員会

商工業振興費の新しい生活様式対応事業所設備等整備補助金に関し、新型コロナウイルス感染症拡大による事業環境の変化に対応するため、事業者が行う設備の改修等に係る経費の一部を事業者に対し補助することのことが、現在実施している、3密対策リフォーム等補助金との違いは何かとの質疑に対し、補助対象を事業者単位から店舗単位とし、ウイズコロナ・アフターコロナにおける事業環境の変化に対応

するための設備改修や設備導入等の推進を主眼としているとの答弁がありました。

●建設水道委員会

再開発費のまちなかウォークアブル推進事業に関し、具体的な事業内容はどの質疑に対し、一宮駅を中心とした1キロ圏内のエリアにおいて、居心地がよく、歩きたくなる街中を形成し、都市の多様性とイノベーションの創出を図ることを目的としている。事業内容としては、エリアプラットフォームの形成と未来ビジョンの策定、それに向けた社会実験の実施を予定しているとの答弁がありました。



一宮駅前、イメージ風景

「案内・お願い

新しい情報を、FBやラインにて配信しております。ご登録いただければ幸いです。

岡本将嗣のアルバム

令和3年度、4月から中核市に移行する新生一宮市。市民の皆様へ、中核市のメリット等をわかりやすく、動画配信させていただきました。QRコードを読み込んでいただき、中核市に移行した一宮市をご覧くださいと思います。とりわけ、保健所機能の県から市への業務移譲が一番の問題と考えます。コロナ収束まで、感染予防対策に引き続き宜しくお願い致します。



現在の一宮市保健所

https://youtu.be/BlqiytOLY_s
市民の皆さまに「中核市になっただけ」を感じていただける一宮市へ...
PR動画「一宮市が中核市になると、ココが変わる...」
一宮市は2021年4月1日に中核市へ移行します。...

中核市になる、一宮市



QRコードによる動画配信